

母さんがどんなに僕を嫌いでも (2018)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 104分
初公開日 2018/11/16
公開情報 REGENTS
映倫 G

【キャッチコピー】

20年以上、母の愛をあきらめなかった息子の実話

【解説】

人気ブロガー歌川たいじの同名コミック・エッセイを「ポンチョに夜明けの風はらませて」の太賀と「ハナレイ・ベイ」の吉田羊主演で映画化した実話ドラマ。幼い頃から母に拒絶され続けた主人公が、大人になって再び母と向き合う奇跡の物語を描く。共演は森崎ウィン、小山春朋、木野花。監督は「すーちゃん まいちゃん さわ子さん」「泣き虫ピエロの結婚式」の御法川修。幼いタイジは美しい母・光子が大好きだった。しかし光子はいつも情緒不安定で、タイジに対して容赦なく苛立ちをぶつけてしまっていた。17歳になり、光子の虐待に耐えかね、ついに家を飛び出したタイジだったが…。

【クレジット】

監督	御法川修
製作	古迫智典 堀内大示 福嶋更一郎 飯田雅裕 久保田光治 片岡尚 本間欧彦 樋口恵一 渡邊直子
プロデューサー	植村真紀 渡邊直子
ラインプロデューサー	鈴木嘉弘
原作	歌川たいじ
脚本	大谷洋介
撮影	板倉陽子
美術	花谷秀文
編集	山本彩加
音響効果	高木創
音楽	YOSHIKAZUMI
主題歌	ゴスペラーズ The Gospellers 『Seven Seas Journey』
照明	緑川雅範

録音	越川浩道		
整音	高木創		
助監督	藤江儀全		
出演	太賀		タイジ
	吉田羊		光子
	森崎ウィン	Win Morisaki	キミツ
	白石隼也		大将
	秋月三佳		カナ
	小山春朋		タイジ（幼少期）
	斉藤陽一郎		タイジの父親
	おかやまはじめ		婆ちゃんの弟
	木野花		婆ちゃん